

B-18 古毛糸の再生利用に関する研究 (第2報)

帝京短大家政 古幡 充代

1. チオグリコール酸 (T.G.A) は羊毛製品のパーマメントセットに、あるいは毛髪のコールドウェーブ液などに使用されている。本報ではこれを利用し編み返し毛糸のような波状毛糸をチオグリコール酸処理により矯正し、これを煮充工程、湿熱処理矯正のものと感触、損傷度などについて比較検討してみた。

2. 編んでから十分年月を経過した(4~5年以上のもの)カーデガンをほどき、これを中性洗剤で洗たくし、十分に水ですすいだもののかせにして日陰干しした毛糸と、新しい毛糸を日光光線に照射したものにつき、チオグリコール酸の各濃度のアルカリ溶液で処理し、矯正度、損傷度を比較した、損傷度については強伸度試験、膨潤度試験を行なった。

3. 波状毛糸の矯正では、酸性溶液よりもアルカリ溶液で効果が大きであった。これはアルカリ溶液での膨潤軟化作用によるものと思われる。濃度は2%以上において効果がよい。湿熱の矯正と比べ感触は非常によく、損傷度も強伸度、膨潤度試験でみる限り有意差が認められた。

尚、経時変化については更に検討を要するものと思われる。